

戦略	分野横断的取組	分野横断				取組【34項目(追加11項目)】		所管課	関連する市民提案	気候市民会議提言書の反映(詳細は資料2参照)	
		自然環境	生活環境	地球環境	環境活動	No.					
【戦略1】気候変動対策を通じた安全安心で持続可能なまちづくり	【1-1】住宅・建築物の脱炭素化		○	○	○	1	既存住宅等の断熱改修の促進<拡充>	地球温暖化対策担当	p53○、p54○、z81○・z82○	<p>●：既実施(引き続き取り組むもの) ○：今後対応 △：今後対応について検討</p> <p>p.照明、家電や電気機器を省エネ対応のものへ適切に交換し、エネルギー効率の良い住まいにする 53_○すでに学校や公共施設では人感センサーのものに切り替わっている場所がある 54_○電気などの無駄遣いを解決する手法の1つとして、公共施設等をモデルとし、先行して行う</p> <p>q.より豊かで便利な暮らしを送ることができるエコ住宅・団地の改修を推進させる 55_△脱炭素生活を送りながらも、より豊かで便利な暮らしができるエコ団地への改修を市が主導して行う 56_△団地の種類により意思決定が異なるため、それぞれの意思決定に合わせて丁寧に進める 59_△団地の改修の際に、モデル団地を位置付けることで企業が積極的に関われるようにする</p> <p>z.省エネ+蓄エネの取組を進める 81_○家屋に断熱材や二重窓を取り入れる(効果的補助ありとする) 82_○省エネ家電の買い替え時に補助する</p>	
		まちづくりに貢献「良質な住環境の形成」				2	ZEH・ZEH-M・ZEBの普及促進、導入促進方策の検討<新規>	地球温暖化対策担当 都市計画課 多摩ニュータウン再生担当	q55△、q56△、q59△		
	【1-2】再エネの利用拡大とエネルギーの地産地消				○	○	3	太陽光発電設備の設置促進<新規>	地球温暖化対策担当		v73○
			まちづくりに貢献「イノベーションが生まれ地域産業が成長」				4	再エネ電力の利用拡大に向けた情報提供・啓発<新規>	地球温暖化対策担当		u71○
							5	公共施設での再生可能エネルギーの最大限導入<新規>	地球温暖化対策担当 教育振興課 防災安全課 各施設所管課		v74○、v76△、x78●
							6 追加	PPAモデルの活用や、地域のエネルギー事業者との連携等による、再エネの利用拡大方策の検討<新規>	地球温暖化対策担当		q60△、z85△、ap129○
							7	水素エネルギー(※)やノンフロン製品などの環境新技術についての情報提供、普及促進<新規>	地球温暖化対策担当		w77◇、z86◇、z87◇
	(※)再エネ由来電力が大量導入された際の調整力として有望。電化が困難な熱エネルギーの脱炭素化に寄与することも期待されている。										
									<p>q.より豊かで便利な暮らしを送ることができるエコ住宅・団地の改修を推進させる 60_△住宅の太陽光パネル設置は、行政主導でエリアごと実施し、各家庭のコストを削減させる</p> <p>u.太陽光発電は、パネルの製造から廃棄までを考えて広めていく 71_○製造から廃棄まで考えることで、他の環境問題の対策を考える際のモデルになる</p> <p>v.太陽光発電が広がる基準や仕組みをつくる 73_○太陽光パネルの設置や継続に対して補助金を給付する 74_△屋根を行政に貸出す仕組みをつくり、設置からメンテナンスまでを行政が担うことで、住民の負担が減らす 76_△多摩市の小学校16校の陽当たりが良い未利用プールを活用し、太陽光パネルを設置する(災害時にも役立つ)</p> <p>x.ごみやバイオマスなどを活用して、地域でエネルギーを発電し地域で有効に使う、エネルギーの地産地消の仕組みをつくる 78_●多摩市ではごみ処理場の熱をプールや公共施設などに利用している(再エネではなく火力だが、ごみは燃やさなくてはならない)が、そのような取組を進める</p> <p>z.省エネ+蓄エネの取組を進める 85_△蓄電のための施設を建設する</p> <p>ap.「CO2削減」の技術会社に投資したり、ユーザーになるなどして、協力○応援する 129_○地産地消のエネルギーのユーザーになる</p>		
									<p>w.水素ステーションを増やし、水素エネルギーを活用する 77_◇水素ステーションを市内に数多く設置する</p> <p>z.省エネ+蓄エネの取組を進める 86_◇EVのバッテリーを住宅用にリサイクルして蓄電池として活用する新サービスの活用 87_◇太陽光のエネルギーで水素を作って蓄める技術の実用化</p>		

戦略	分野横断的取組	分野横断				取組【34項目(追加11項目)】		所管課	関連する市民提案	気候市民会議提言書の反映(詳細は資料2参照)							
		自然環境	生活環境	地球環境	環境活動	No.											
【1-3】移動・交通の脱炭素化		○	○	○	まちづくりに貢献「良質な交通ネットワークの形成」「『健全な生活』を楽しみ、安心して暮らし続けられる」	8追加	ウォークアブルなまちづくりの推進(ウォーキングコースの情報提供、公共交通の利用促進、まちの回遊性向上などについて一体的に情報発信) <新規>	都市計画課 道路交通課 健康まちづくり推進室 経済観光課 公園緑地課	ab90○、ac91△、 ac92○、ac93○、 ac94△、ad95●	z.省エネ+蓄エネの取組を進める 84_△EVのバッテリーを地域の人たちで共同利用できるような仕組みをつくる ab.なるべく歩いて移動する 90_○脱炭素だけではなく、健康づくりにも良い徒歩を、個人の取組として心がける ac.楽しく歩いて移動できる環境をつくる 91_△歩きやすい舗装、休憩場所、ベンチなどを設置する 92_○多摩市は遊歩道が40km以上あり、公園、川、緑などの歩く環境が整っているので、その魅力を発信する 93_○見頃の花やその場の魅力など、楽しく歩けるコンテンツや楽しみ方を伝える 94_△他都市に出かけなくても多摩市内で楽しめる、公園や緑の資源を活かしたコンテンツを整える ad.車の利用を減らし、なるべく公共交通や自転車を使う 95_●近隣へは徒歩や自転車で行く 96_●遠方には自転車、バスや電車で移動する。最終手段として、車を使う ae.自転車道を整備する 98_△一般市民が日々の生活で安心して自転車に乗れるように道路環境を整備する 99_△まずはポールなど立てて、車とより分離し、安全に乗れるようにする。いずれは自転車優先道を整備する af.自転車のシェアリングスポットを増やして便利にすることでシェアリングを増やす 100_△住宅地にスポットを増やすことで利便性を高める(駅前などの便利な場所には十分にあるが、生活圏の中にはない) 101_△地域コミュニティの拠点とシェアリングスポットを組み合わせることで、口コミで広げられる 102_△市民への特典など利用を促すインセンティブを提供する ag.乗り合いで、排出量を減らす 103_△乗り合いノライドシェアを可能にする環境や制度を整える 104_△実現方法の検討、インセンティブなどの仕組みづくり、タクシー会社との連携が必要 ah.車を利用する場合はエコドライブし、環境に配慮した車を選ぶ 108_△自宅でも充電できるように支援する ai.個人が所有する電動自転車のバッテリーを太陽光発電で充電できるスポットをつくる 109_△すでに太陽光発電をしている学校などにモデル事業として設置する 110_△多摩市全体を発電所・電力供給源にする多摩モデルをつくる 111_△充電場所：団地・集合住宅・住まい、駅、学校、商業施設、公共施設など							
						9追加	歩行・自転車利用環境の整備<拡充>	道路交通課	ac91△、ac92○、 ac93○、ac94△、 ae98△、ae99△、 af100△、af101 △、af102△								
						10	公共交通利用の促進とMaaSの活用<拡充>	道路交通課	ad96●								
						11追加	電気自動車(EV)や燃料電池車(FCV)の普及促進<新規>(充電設備や水素ステーションの設置促進、V2Hや充電スポット等の情報提供等を含む)	地球温暖化対策担当 総務契約課 各施設所管課	z84△、ah108△、 ai109△、ai110△、 ai111△								
						12追加	カーシェアリング、自転車シェアリング等の普及促進<新規>	地球温暖化対策担当	af100△、af101 △、af102△、 ag103△、ag104△								
						【1-4】気候変動の影響への適応力強化		○	○		○	まちづくりに貢献「自然災害への備えて強靱化された都市基盤」	13追加	市の総合的な治水対策方針による雨水貯留・浸透機能及び排水機能の確保(多摩市)<新規>	下水道課 各施設所管課 公園緑地課		-
													14追加	熱中症予防の啓発、熱中症警戒アラート等を活用した情報提供<新規>	環境政策課 健康推進課 関係所管課		-
													15追加	マイボトル用給水器の設置、マイボトルの活用についての啓発	資源循環推進課 関係所管課		-

戦略	分野横断的取組	分野横断				取組【34項目(追加11項目)】		所管課	関連する市民提案	気候市民会議提言書の反映(詳細は資料2参照)
		自然環境	生活環境	地球環境	環境活動	No.				
【戦略2】みどりの機能を生かすまちづくり	【2-1】グリーンインフラを活用するまちづくり	○	○	○	○	16	樹林等の持続的な育成管理体制の構築<拡充>	公園緑地課		●:既に実施(引き続き取り組むもの) ○:今後対応 △:今後対応について検討
						17	生態系への気候変動影響の把握<拡充>	環境政策課		-
	【2-2】協働による生物多様性の保全のための活動の促進	○			○	18	OECM制度の普及啓発<新規>	環境政策課 公園緑地課 関係所管課		-
	【2-3】ワンヘルスの考え方による生物多様性の理解	○	○			19	気候変動を考慮した衛生害虫対策、ワンヘルス(※)の考え方の普及啓発<新規> ※ワンヘルス:人の健康は、家畜を含む動物の健康や健全な自然環境と一体(ワンヘルス)であり、感染症を減らし人の健康を守るためにも、自然環境の保全が重要となる。	環境政策課		-
【戦略3】地域の資源を生かし、持続可能な資源利用を実現するまちづくり	【3-1】資源循環型の生活の普及	○	○	○	○	20	個人のライフスタイルに、ごみを作らない、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑制を普及させるため、サブスクリプションやリース、シェアリング・エコノミー(※)に関する情報提供・普及啓発<新規> ※インターネットなどを介して、個人と個人の間で使っていないモノ、場所、技能などを貸し借りするサービスのこと。	資源循環推進課	c8○、c9○、c10○、d11○、d12○、d15△、d17○、j41○、n49○	c.サブスクリプションやリースなどで、消費型の企業モデルを見直す 8_○次から次へと買い換えが進む仕組みを変え、サブスクリプションやリースによって長く様々な人が使うことを前提として、長持ちする製品をつくる 9_○家電には部品保持のルールがあるので耐用年数を明記するルールをつくる 10_○修理した方が安いという状況をつくる d.製品の長寿化・耐久化により、大量生産・大量消費社会からの転換を図る(GDPに変わる新しい指標) 11_○企業が透明性を高めて、部品などのリサイクル率を示すことが必要。環境負荷について情報公開を求めていく 12_○昔、個人の電気屋さんが修理していたように、長い保証に入って修理して使い続けることができると良い 15_△企業によるペットボトルプラスチックのリサイクルをさらに進める 17_○自販機が多すぎるので、ペットボトルの消費も増える。冷水機を増やす j.プラスチック製品を減らした生活をする 41_○個人の消費行動で企業を変える。意識のある消費者を増やし、取り組む企業を増やす n.リサイクルを促すために、ペットボトルもデポジット方式にする 18_○
						21	資源の有効利用に向けた資源回収	資源循環推進課	h31●	h.不要になってしまったものは捨てるのではなく、必要としている人に譲り、循環のサイクルを実現する
						22	粗大ごみの再利用	資源循環推進課		31_●まわりに必要としている人がいない場合は公共施設に回収場所を設置し活用する
						23	リサイクル活動の支援	資源循環推進課	h32◇	32_◇子ども服などを地域で交換できる場をつくる(フリマサービスのような代価のある交換も活用する)
						24	川ごみ清掃及びマイクロプラスチックの啓発<新規>	環境政策課		
						25 追加	家庭等から出される廃油のバイオ燃料等への活用方策の検討<新規>	資源循環推進課	x79△	x.ごみやバイオマスなどを活用して、地域でエネルギーを発電し地域で有効に使う、エネルギーの地産地消の仕組みをつくる 79_△廃食用油も回収すればSAF(持続可能な航空燃料)になるので、多摩市として収集して活用する

戦略	分野横断的取組	分野横断	取組【34項目（追加11項目）】		所管課	関連する市民提案	気候市民会議提言書の反映（詳細は資料2参照）
		自然環境 生活環境 地球環境 環境活動	No.				●：既の実施（引き続き取り組むもの） ○：今後対応 △：今後対応について検討
	【3-2】食の地産地消の普及	○ ○	26	地元の食材の活用や普及啓発<拡充>	経済観光課	a1○、a3○、a4△	a.地元のお店で環境に配慮している企業の食品・商品・地域の野菜や食品を買う。地産地消を実現する 1_○地元のお店で買うことで物流コスト、CO2削減につながる。地域の経済がまわる 3_○地元野菜売場の取組はスーパーでも行われているので、広げる 4_△多摩市が地元野菜の売り場（コミュニティセンターや図書館併設）をつくり、様々な媒体（紙・デジタル）でPRしていく。直売所ももっとPRする。
【戦略4】多様な価値観・ライフスタイルの中で環境配慮を促すまちづくり	【4-1】脱炭素ライフスタイルについての情報発信	まちづくりに貢献「地域での学び合い・活動・交流」「多世代共生型コミュニティの実現」	27	脱炭素ライフスタイルに関する情報発信<拡充>	環境部全課 コミュニティ生活課	y80△、ah106○	y.人が集まるところに楽しく発電できる機能づくりと仮想通貨「多摩環境コイン」で分かりやすく効果を見える化する仕組みづくりを行う 80_△サイクル発電、ランニング発電、トランポリン発電、お散歩発電など、様々な「遊び」を使って発電を可視化し、楽しくする aa.仮想通貨「多摩環境コイン」の活用や分かりやすく効果を見える化する仕組みをつくる 88_△環境コインやポイント制で省エネ+蓄エネの取組を進める 89_○家庭での電気の消費量も家庭内で見える化できる仕組みを取り入れる ah.車を利用する場合はエコドライブし、環境に配慮した車を選ぶ 106_○運転の仕方を変えて、すぐに効果を出す an.SNSで多摩市気候市民会議を国内外に宣伝し、将来的に環境や気候変動に関心のある市民が興味を持ってくれるように発信する 123_○多摩市での気候変動の楽しそうな取組を発信し、ブランディングする ap.「CO2削減」の技術会社に投資したり、ユーザーになるなどして、協力・応援する 127_△GXに絡んだ新しい取組に理解を示し、応援していることを伝える as.今はない新技術を生み出す環境研究都市づくり“Test Town Tama”として、研究機関等を誘致し、大学等と連携して社会実験や取組を実施する 144_△個人・事業者のCO2排出量を一瞬で見える化する技術を導入する
			28 追加	自分の生活に伴うカーボンフットプリントの理解、見える化ツール（※）の活用促進<新規> （職員の率先行動、市民等への啓発） ※：カーボンフットプリント可視化アプリ「じぶんごとプラネット」。移動・住居・食・モノとサービスに関する質問に答えることで、自分の生活スタイルから生じるカーボンフットプリントと自分に合った脱炭素アクションを知ることができる。	環境政策課 地球温暖化対策担当	y80△、aa88△、aa89○、as144△	
			29	サステナブルアワードの開催<新規>	環境政策課	an123○、ap127△	
	【4-2】幅広い市民にわかりやすく、関心を持ってもらえる情報発信	まちづくりに貢献「多世代共生型コミュニティの実現」	30	環境に関する情報提供や広報の推進	環境部全部課	ak116◇、al117◇、al118◇、al119◇	ak.様々な視点で脱炭素の実現に向けた正しい情報・選択肢を市民、企業、行政、教育機関で共有する 116_◇正しい情報や知識を得ることで市民が、企業や行政に関わるきっかけにする al.まずは自分の生活のことを“知る”ことから始めて排出量を意識する 117_◇家族間、親子間で情報共有するなど、気候変動の現状や自分たちの生活の実態を把握する 118_◇食べ残し、買いすぎ、リサイクル、節水・節電、移動など、自分の生活で楽しめること、プラスになることから行動する 119_◇自らの行動が料金の節約や健康づくりにもつながり、モチベーションが維持できることが大切
			31	SNSやアプリの活用による情報発信	環境部全課	an123○、ao126○	an.SNSで多摩市気候市民会議を国内外に宣伝し、将来的に環境や気候変動に関心のある市民が興味を持ってくれるように発信する 123_○多摩市での気候変動の楽しそうな取組を発信し、ブランディングする ao.国内外に向けた多摩市大人の見学ツアーで「環境都市多摩」をアピールする 126_○海外への発信が、更なるネットワークやムーブメントづくりにつなげる

戦略	分野横断的取組	分野横断				取組【34項目（追加11項目）】		所管課	関連する市民提案	気候市民会議提言書の反映（詳細は資料2参照）
		自然環境	生活環境	地球環境	環境活動	No.				
【戦略5】各分野の活動を支える新たな市民協働の体制づくり	【5-1】市民・民間事業者など多様な主体が協働して取り組んでいくための体制づくり	○		○	○	32	各種団体の活動支援、活動拠点の提供と活用	環境部全課		●：既の実施（引き続き取り組むもの） ○：今後対応 △：今後対応について検討 ak.様々な視点で脱炭素の実現に向けた正しい情報・選択肢を市民、企業、行政、教育機関で共有する 115_○深い議論やコミュニケーションを経ることでマインドチェンジする ap.「CO2削減」の技術会社に投資したり、ユーザーになるなどして、協力・応援する 130_△社会実験などに参加・協力する aq.新技術を持つ脱炭素に取り組む優良事業者への法人税減免などの優遇措置、社会基盤を整備する 132_△個人の脱炭素行動を誘発するポイント制や、事業者向けの税制免除・優遇措置を設ける as.今はない新技術を生み出す環境研究都市づくり“Test Town Tama”として、研究機関等を誘致したり、大学等と連携したりして社会実験や取組を実施する 138_△ごみの分別による再資源化・エネルギー化、バイオマス発電、再エネ技術を導入する企業を誘致する 141_△まち全体にスマートグリッドという新技術を導入、地域内に電気の発電と配電網を整備するエリアを設ける 142_△汚れたプラスチックを再生するなどごみの有効活用をはかる実験的な取組をする 143_△期間、エリアを限定してペットボトル飲料の販売禁止などを試行してみる
						33	気候市民会議の創設、活動推進<新規>	環境政策課	ak115○	
						追加 34	市民等からの提案・アイデアの実現・実装に向けた研究開発（事業者や教育機関、市等の連携による社会実験や研究開発、企業誘致等）<新規>	環境部全課 経済観光課	ap130△、aq132△、as138△、as141△、as142△、as143△	